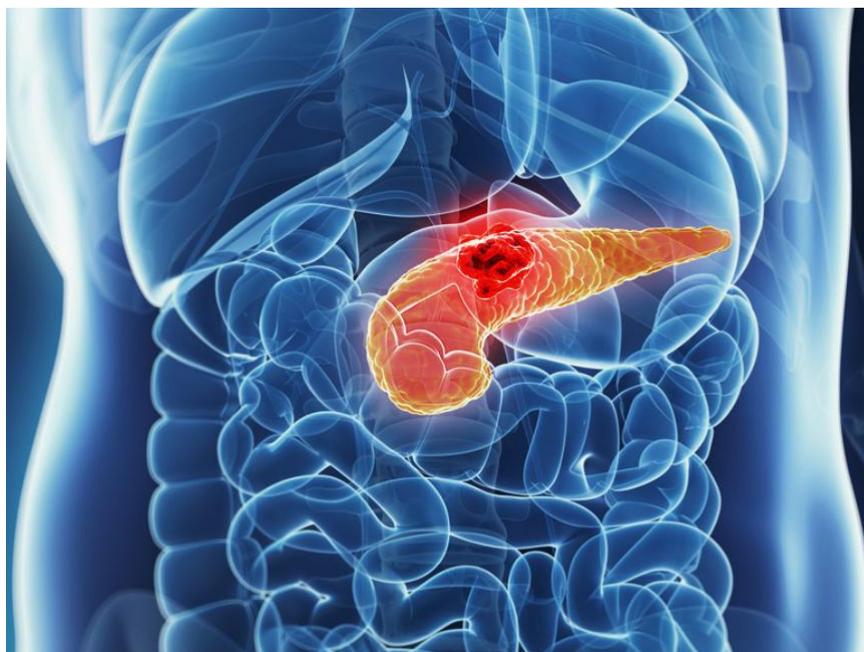


高血圧薬と女性の膵がんリスク 上昇について

高血圧治療に使用されている短時間作用型カルシウム（Ca）拮抗薬が、閉経後女性の膵がんリスクを増大させる可能性があることが、米ベイラー医科大学の Zhensheng Wang 氏らによる研究から明らかになり、米国がん研究協会の年次集会（AACR 2018）で発表されました。



閉経後女性 14 万 5,551 人を調査した結果、同薬を 3 年以上使用していた女性では、別の種類の降圧薬を使用していた女性と比べて膵がんリスクが約 2 倍でありました。一方、長時間作用型 Ca 拮抗薬では、膵がんリスクの上昇は認められませんでした。



短時間作用型 Ca 拮抗薬にはニフェジピンやニカルジピン、ジルチアゼムなどがあります。